

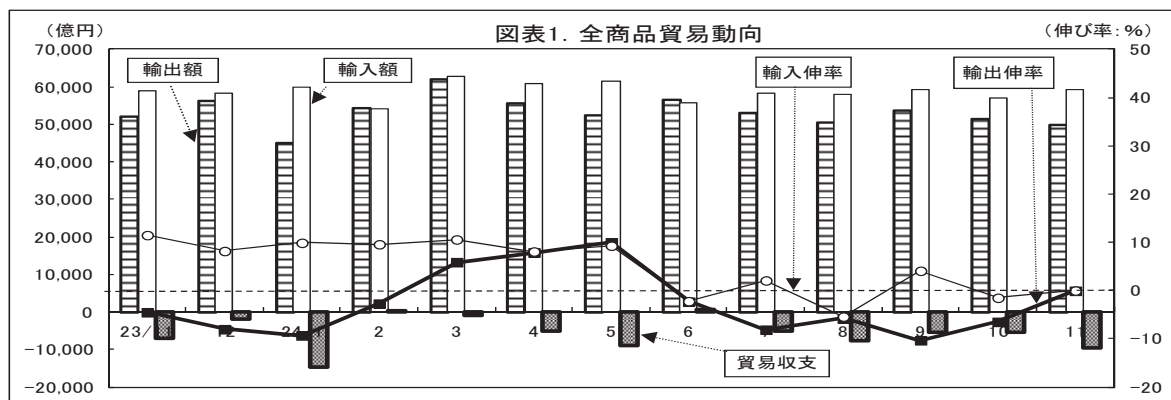
最近の機械貿易動向(11月)～機械輸出は5ヶ月連続でマイナスと依然低迷～

日本機械輸出組合 2013. 1.21

11月の機械輸出額は、3兆2,352億円、対前年同月比6.3%減と5ヶ月連続で減少した(10月7.3%減)。これは、①中国、EU向けに2ケタの大幅減となったこと、②機械輸出額の34%を占める自動車の伸びが3.8%減とマイナスとなったこと、16%の産業機械が9.0%減と大幅な減少が続いていることなどによる。11月は為替・営業日が6.3%の増加要因となったが、実質的伸びが13.3%減と大幅な減少が続いている。12月は対ドル・対ユーロとも円安となり、為替は3.4%の増加要因となり、また、営業日は同じため、為替・営業日の増加要因は3.4%となる。12月の機械輸出額は、仮に11月の実質的伸び(13.3%減)が続くとすれば、前年比10%減となるが、12月上中旬の全商品輸出額は4.1%減となり、マイナス幅は縮小。

1. 全商品貿易動向～輸出は6ヶ月連続でマイナス、貿易収支は赤字基調続く～

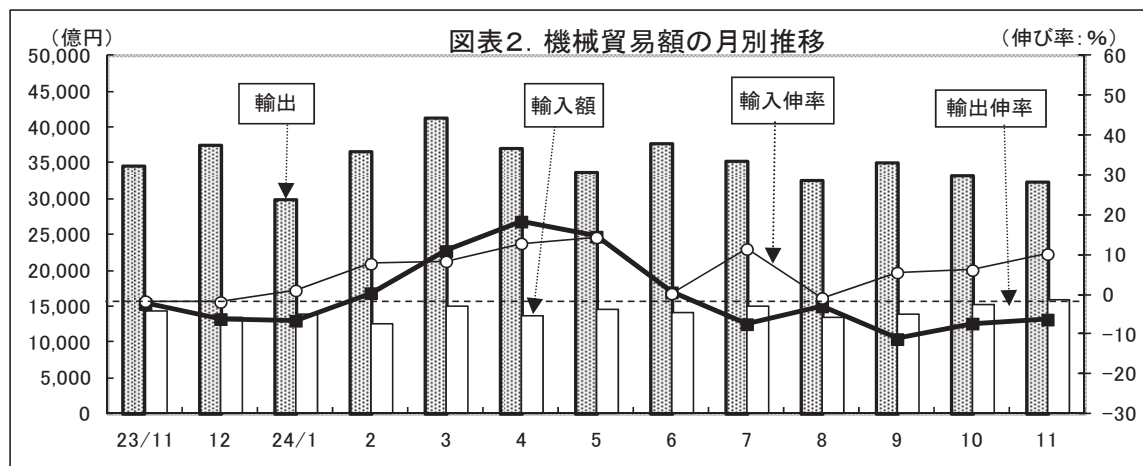
- 1)平成24年11月の全商品輸出額は4兆9,837億円、前年同月比(以下同じ)4.1%減とマイナス幅を縮小するも6ヶ月連続の減少となった(10月6.5%減)。これは全輸出額の約23%を占める輸送用機器(10.1%減)、約19%の建設用・鉱山用機械、荷役機械等一般機械(10.3%減)等が減少したことによる。
- 2)輸入額は5兆9,385億円、0.9%増とややプラスに転じた(10月1.5%減)。これは、全輸入額の14%を占める通信機等電気機器(16.1%増)が大幅に増加する一方、30%を占める原油等鉱物性燃料(2.4%減)、8%の鉄鋼等原料別製品(6.6%減)、7%の鉄鉱石等原料品(4.9%減)等のマイナス幅が縮小したためである。
- 3)この結果、輸出額から輸入額を差し引いた11月の貿易収支は、9,548億円と貿易赤字基調が続き、11月(1979年1月以降による)としては過去最大の赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は5ヶ月連続減少と低迷、輸入は3ヶ月連続増加～

- 1)全商品輸出額の約65%を占める11月の機械輸出額は3兆2,352億円、6.3%減と減少幅を縮小させたものの5ヶ月連続でマイナスとなった(10月7.3%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成19年11月)と比べると、64.3%と前月より0.2ポイントさらに後退した(10月64.5%)。
- 2)一方、全商品輸入額の約27%を占める機械輸入額は、1兆5,890億円、10.1%増と3ヶ月連続で増加し、増加幅を拡大した(10月6.1%増)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の91.5%と前月より5.8ポイント改善した(10月85.7%)。

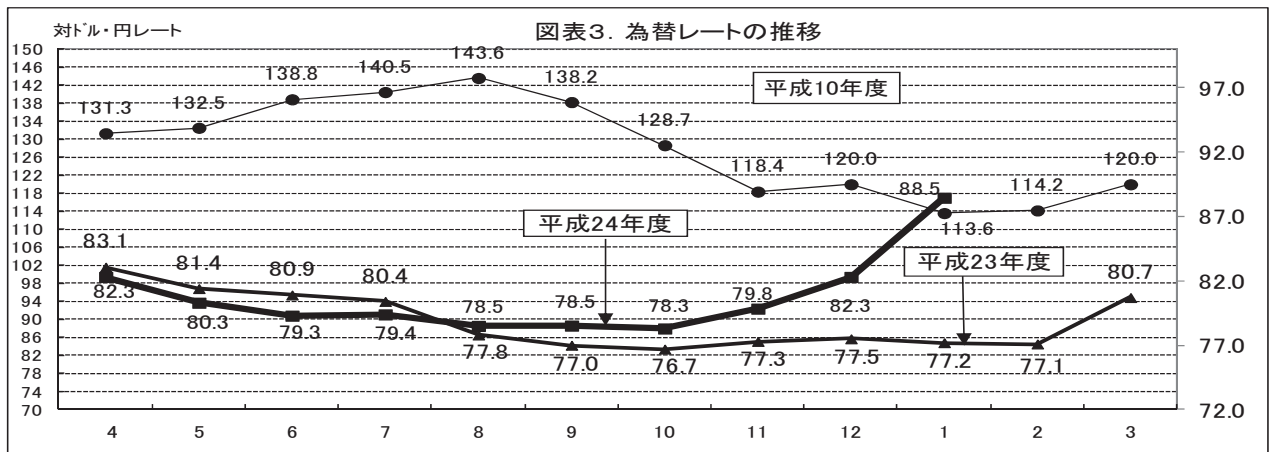


(2) 為替動向・営業日～11月は為替・営業日で7%の増加、12月は3.4%の増加要因～

1) 11月は1ドル=79.8円とやや円安方向に転換し、前年に比べ3.3%の円安となった。また、対ユーロでは102.8円とさらに円高が是正されが、前年に対し3.5%の円高であり、合わせて2%の為替増加要因となった。営業日は1日多いので5%増、合計7%の増加要因となる。11月の輸出額は6.3%減であったことから、実質的伸び率は13.3%減とマイナス幅は縮小した(10月18.1%減)。

2) 12月は1ドル=82.3円と円安方向に転換し、前年に比べ6.2%の円安となった。また、対ユーロでは106.6円と前年に対し2.8%の円安に振れて平成23年7月以来の円安となり、合わせて約3.4%の為替増加要因となった。営業日は同じため、合計3.4%の増加要因となる。

3) 1月は、対ドルが現状の88.5円とすれば、前年が円高であったので14.6%の円安、また、対ユーロも117.6円と円安方向に動いたので17.8%の円安となり、合わせると9.1%の為替増加要因となる。営業日は同じなので合計9.1%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～中国、EU向けが二桁減、米国、NIES/ASEAN向けは2ヶ月連続してプラス～

1) 機械輸出額が減少したのは、①機械輸出額の約15%を占める中国向けで、輸出額の20%を占める半導体製造装置等産業機械(22.9%減)、約10%を占める自動車(56.0%減)、建設機械(57.6%減)等が大幅に減少し、22.4%減の大幅なマイナスとなったこと、②また、約11%を占めるEU向けでは、長びく欧州経済の低迷から、輸出額の32%を占める自動車(18.5%減)、18%を占める産業機械(9.0%減)、電子デバイス(26.3%減)、分析・試験・検査機(16.7%減)等が減少し、19.9%減と大幅なマイナスとなったこと、③20%を占めるその他地域向けでは、アフリカ(28.1%減)、中南米(18.0%減)、インド(10.3%減)が2ケタ減となり、機種では、輸出額の約16%を占める船舶(40.5%減)や建設機械(24.4%減)等がマイナスとなり6.9%の減少となったことによる。

2) 他方①機械輸出額の25%を占める北米向けは輸出額の48%を占める自動車(5.1%増)が3カ月連続で増加し、重電気機械(14.8%増)、分析・試験・検査機(19.5%増)、デジカメ(24.2%増)等が大幅増加して4.1%増と2ヶ月連続増加となった。②また、29%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けでは、タイ(56.4%増)、ベトナム(22.3%増)、香港(18.3%増)が大幅増となり、業種では自動車、産業機械、重電気機械、光学機械、電子デバイス(NIES)等がプラスとなって2.8%増となった。

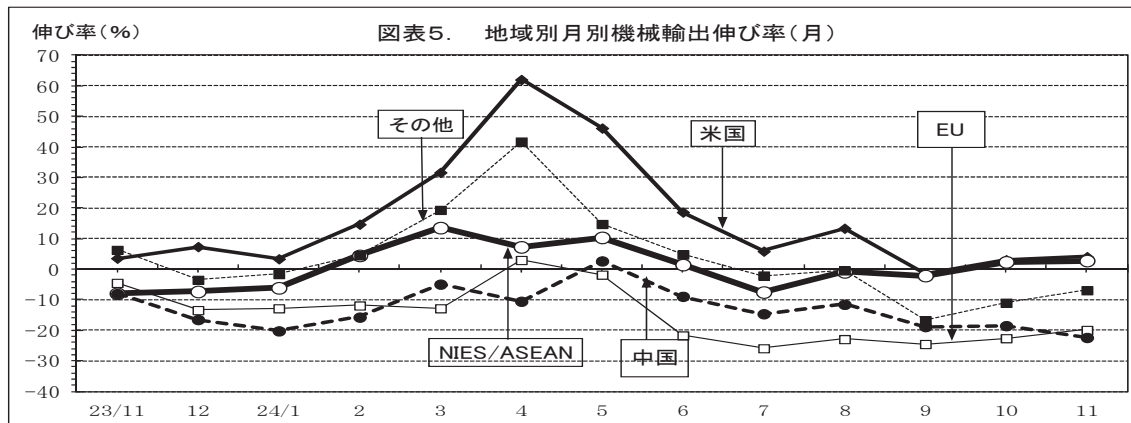
3) また、リーマンショック前の平成19年11月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えた地域はなく、中国が76%、NIES/ASEANが74%、北米が69%、その他地域は56%、EUは45%と低い水準となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2012/9			2012/10			2012/11			対07年 11月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	34,968	▲ 11.2	100	33,282	▲ 7.3	100	32,352	▲ 6.3	100	0.64
北米	7,838	▲ 1.5	22.4	7,881	3.1	23.7	8,018	4.1	24.8	0.69
EU	3,890	▲ 24.5	11.1	3,588	▲ 22.6	10.8	3,541	▲ 19.9	10.9	0.45
NIES/ASEAN	10,272	▲ 2.1	29.4	9,720	2.4	29.2	9,401	2.8	29.1	0.74
中国	5,734	▲ 18.8	16.4	5,405	▲ 18.5	16.2	4,831	▲ 22.4	14.9	0.76
その他	7,235	▲ 16.7	20.7	6,689	▲ 11.0	20.1	6,562	▲ 6.9	20.3	0.56

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2012/8		2012/9		2012/10		2012/11	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,494	▲ 19.9	1,634	▲ 5.5	1,581	▲ 1.0	1,567	▲ 4.6
台湾	1,525	1.7	1,603	▲ 6.2	1,533	▲ 6.6	1,383	▲ 11.4
香港	1,450	▲ 0.6	1,491	▲ 4.8	1,437	▲ 2.2	1,553	18.3
タイ	1,786	16.7	2,006	12.8	1,955	31.8	1,884	56.4
シンガポール	743	▲ 27.0	793	▲ 26.0	687	▲ 12.0	697	▲ 23.1
インドネシア	816	20.7	927	▲ 1.5	805	▲ 3.9	760	▲ 19.4
マレーシア	699	▲ 2.3	767	▲ 5.1	774	5.1	621	▲ 12.0
フィリピン	498	10.0	556	4.5	507	▲ 13.5	500	2.8
ベトナム	354	22.3	371	14.5	326	7.4	360	22.3
その他地域								
中南米	2,044	▲ 1.3	2,188	▲ 22.3	2,060	▲ 11.7	2,008	▲ 18.0
中近東	1,230	▲ 4.8	1,443	1.8	1,472	▲ 3.2	1,470	23.4
大洋州	1,045	16.7	1,267	▲ 12.5	1,021	▲ 0.2	1,116	4.7
ロシア東欧等	1,130	2.6	1,086	▲ 25.3	1,084	▲ 25.0	995	▲ 7.8
アフリカ	531	▲ 15.9	729	▲ 15.6	570	0.5	460	▲ 28.1
インド	419	5.1	411	▲ 20.9	401	▲ 9.7	400	▲ 10.3

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～19業種のうち14業種がマイナス、自動車は3ヶ月連続マイナスへ～

- 1) 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが、14業種と2業種減少した(10月16業種)。全体の約34%を占める自動車(3.8%減、3ヶ月連続マイナス)、約16%を占める産業機械(9.0%減、17ヶ月連続)、船舶(42.8%減)、建設機械(35.2%減)、ベアリング(11.2%減)、陸用内燃機(14.3%減)、産業車両(17.1%減)等が二桁のマイナスとなった。他方、電子デバイス(8.8%増)、民生用電子機械(15.7%増)、農業機械(16.1%増)は高い伸びとなった。
- 2) この結果、リーマンショック前の水準を超えているのが医療機械の1業種のみで、他方、電子計算機、民生用電子機械、通信機械は、30～40%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

機種名	2012/9			2012/10			2012/11			対07/11比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	11,423	▲ 12.0	32.7	自動車	11,220	▲ 8.2	33.7	自動車	11,092	▲ 3.8	34.3	0.62
産業機械	5,523	▲ 9.5	15.8	産業機械	5,439	▲ 9.6	16.3	産業機械	5,285	▲ 9.0	16.3	0.74
電子デバイス	3,012	▲ 7.7	8.6	電子デバイス	2,836	4.4	8.5	電子デバイス	2,768	8.8	8.6	0.64
船舶	1,516	▲ 38.6	4.3	船舶	1,175	▲ 10.9	3.5	船舶	1,155	▲ 42.8	3.6	0.60
軽電気機械	1,936	▲ 10.2	5.5	軽電気機械	1,781	▲ 10.6	5.4	軽電気機械	1,680	▲ 9.2	5.2	0.63
民生用電子機械	1,804	▲ 6.1	5.2	民生用電子機械	1,680	▲ 6.6	5.0	民生用電子機械	1,510	15.7	4.7	0.39
重電気機械	1,777	▲ 7.5	5.1	重電気機械	1,701	▲ 6.6	5.1	重電気機械	1,653	▲ 4.1	5.1	0.74
軽機械	1,343	▲ 5.8	3.8	軽機械	1,242	▲ 6.7	3.7	軽機械	1,242	0.8	3.8	0.68
光学機械	1,415	▲ 3.3	4.0	光学機械	1,379	▲ 0.2	4.1	光学機械	1,291	▲ 0.1	4.0	0.97
建設機械	1,027	▲ 17.7	2.9	建設機械	772	▲ 34.7	2.3	建設機械	726	▲ 35.2	2.2	0.55
工作機械	847	▲ 4.4	2.4	工作機械	844	13.8	2.5	工作機械	779	▲ 6.6	2.4	0.87
通信機械	439	▲ 8.9	1.3	通信機械	388	▲ 17.6	1.2	通信機械	394	▲ 8.4	1.2	0.40
電子計算機	401	▲ 15.1	1.1	電子計算機	377	▲ 17.3	1.1	電子計算機	402	▲ 2.7	1.2	0.32
ベアリング	349	▲ 14.0	1.0	ベアリング	333	▲ 12.9	1.0	ベアリング	324	▲ 11.2	1.0	0.93
陸用内燃機関	326	▲ 26.0	0.9	陸用内燃機関	322	▲ 19.7	1.0	陸用内燃機関	313	▲ 14.3	1.0	0.76
医療機械	384	15.5	1.1	医療機械	303	▲ 1.8	0.9	医療機械	325	3.6	1.0	1.40
繊維機械	158	0	0.5	繊維機械	174	▲ 16.1	0.5	繊維機械	155	▲ 7.5	0.5	0.57
農業機械	152	18.1	0.4	農業機械	145	2.3	0.4	農業機械	147	16.1	0.5	0.75
産業車両	128	▲ 10.1	0.4	産業車両	128	▲ 2.1	0.4	産業車両	116	▲ 17.1	0.4	0.51
19業種合計	33,960		97.1	19業種合計	32,239		96.9	19業種合計	31,357		96.9	0.63

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: ティンカメラ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。
軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5)機種別動向～デジカメが大幅増、他方、エアコン、半導体製造装置等は大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種は、①中国、EU、北米向けデジカメ(44.1%増)、②中国、北米向けTV(18.3%増)、ASEAN、北米向け運搬機械(16.9%増)、北米、EU、韓国・台湾向け農業機械(16.1%増)である。

2)一方、最も落込み幅が大きいのが、エアコン(57.8%減)、半導体製造装置(48.6%減)、録画・再生機器(45.5%減)、船舶(42.8%減)、電池(39.3%減)、建設機械(35.2%減)、産業車両(17.1%減)、産業用ロボット(16.3%減)、貨物自動車(14.8%減)、陸用内燃機関(14.3%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)(単位:億円)

2012/9			2012/10			2012/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
金属加工機械	331	29.8	金属加工機械	375	29.2	デジカメ	521	44.1
農業機械	152	18.1	工作機械	844	13.8	TV	81	18.3
医療機械	384	15.5	機種合計	1,219	3.7%	運搬機械	238	16.9
時計	112	12.5				農業機械	147	16.1
機種合計	867	2.5%				機種合計	987	3.1%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内)(単位:億円)

2012/9			2012/10			2012/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
録画・再生機器	8	▲55.6	録画・再生機器	8	▲55.6	エアコン	6	▲57.8
電池	174	▲54.6	電池	180	▲48.1	半導体製造装置	517	▲48.6
船舶	1,516	▲38.6	発電機	96	▲36.7	録画・再生機器	8	▲45.5
陸用内燃機関	326	▲26.0	半導体製造装置	638	▲36.4	船舶	1,155	▲42.8
半導体製造装置	806	▲21.0	建設機械	772	▲34.7	電池	179	▲39.3
風水力機械	564	▲19.8	運搬機械	187	▲24.3	建設機械	726	▲35.2
建設機械	1,027	▲17.7	陸用内燃機関	322	▲19.7	産業車両	116	▲17.1
乗用車	6,122	▲16.1	電子計算機	377	▲17.3	産業用ロボット	82	▲16.3
磁気カード・ディスク	142	▲15.8	通信機械	388	▲17.6	貨物自動車	770	▲14.8
電子計算機	401	▲15.1	繊維機械	174	▲16.1	陸用内燃機関	313	▲14.3
機種合計	11,078	31.7%	機種合計	3,142	9.4%	機種合計	3,872	12.0%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6)機械輸入動向～携帯電話、乗用車、航空機が大幅増、民生用電子部品が減少～

1)11月の機械輸入伸び率は10.1%増と3ヶ月連続で増加となった。その要因は、輸入額で1位となった携帯電話(128.2%増)の大幅増をはじめ、航空機(24.9%増)、乗用車(12.8%増)の2桁増が大きく影響したためである。他方、大幅な減少となったのは民生用電子部品(13.7%減)、分析・試験・検査機(9.7%減)などであった。

2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、携帯電話、電子計算機、医療機械、時計、TV、エアコン、ラジオ、録画・再生機器となっている。

3)地域別機械輸入額は、中国(14.3%増)、EU(4.7%増)、ASEAN(11.0%増)、韓国・台湾(14.4%増)、北米(3.2%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種(単位:億円、%)

2012/9				2012/10				2012/11			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,497	0.3	10.8	電子計算機	1,823	13.6	12.0	携帯電話	1,935	128.2	12.2
電子計算機	1,412	▲11.5	10.1	電子デバイス	1,531	0.8	10.1	電子計算機	1,572	▲0.8	9.9
携帯電話	1,276	185.8	9.2	携帯電話	1,310	29.3	8.6	電子デバイス	1,562	8.0	9.8
乗用車	680	▲0.8	4.9	乗用車	730	21.0	4.8	乗用車	872	12.8	5.5
自動車部品	660	0.8	4.7	自動車部品	717	2.0	4.7	自動車部品	722	▲0.5	4.5
重電気機械	624	0.8	4.5	重電気機械	674	11.5	4.4	重電気機械	670	4.4	4.2
航空機	570	135.7	4.1	白物家電	526	6.2	3.5	白物家電	590	9.7	3.7
医療機器	459	10.4	3.3	医療機器	506	16.2	3.3	医療機器	495	5.3	3.1
白物家電	459	0.8	3.3	航空機	383	▲4.9	2.5	航空機	347	24.9	2.2
光学機械	346	2.5	2.5	光学機械	354	▲2.5	2.3	光学機械	345	9.9	2.2
分析・試験・検査機	280	12.1	2.0	民生用電子部品	326	▲1.7	2.1	分析・試験・検査機	325	▲9.7	2.0
民生用電子部品	269	▲13.1	1.9	分析・試験・検査機	281	▲3.6	1.9	民生用電子部品	296	▲13.7	1.9
12機種合計	8,532		61.3	12機種合計	9,161		60.3	12機種合計	9,731		61.2

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械